

専門学校 穴吹福祉医療カレッジ  
専門学校 穴吹デザインビューティカレッジ  
専門学校 穴吹情報公務員カレッジ

2009年 12月号

# 学園新聞

## 戴帽式

専門学校 穴吹福祉医療カレッジ

歯科衛生士学科初めての戴帽式が9月10日(木)に行われました。2年生一人ひとりが戴帽を受けた後、松田校長先生から、「高齢化社会の中で口腔管理の重要性が認識され、歯科衛生士が社会的にも必要となっている」ことなどのお話しがあり、気持ちを新たにしました。

講師や教職員からは、励ましの言葉をかけてもらい、歯科衛生士としての技術の向上を目指すこと、実習生としての礼儀やマナーなども身につけていくことをこの戴帽式で誓いました。そして協力していただいている実習先の方々、いつも温かく見守っていてくれている家族に対して感謝の気持ちを述べました。

2年生の学園生活も半分が過ぎましたが、学んでいくべきことは沢山あります。この戴帽式で医療人としての職業意識を高め、これからはじまる介護実習や口腔ケアの学習、3年次での臨床実習などにも積極的に取り組み、歯科衛生士としての役割を学んでいってもらいたいと思います。



## 公務員1次試験合格速報

報道専門学校 穴吹情報公務員カレッジ

### 140の公務員1次試験に合格！(10/20現在延人数)

公務員学科(1年制)、行政ビジネス学科(2年制)では、過去の公務員試験の出題パターンや傾向を徹底的に分析し、きめ細やかな指導によって今年も高い実績を修めています。

2年制の行政ビジネス学科は、2年間で公務員受験に対応できる知識・実力を身につける学科であり、また、民間企業への就職をする場合は、本校独自の就職システムを活用し、就職活動することができます。

国家公務員 1次試験合格先	
国家Ⅲ種(行政四国)	2名
国家Ⅲ種(税務四国)	12名
刑務官A(四国)	5名
刑務官B(中国)	2名
海上保安学校(特別)	10名
裁判所事務官Ⅲ種	6名
入国警備官	1名
防衛省Ⅲ種(一般事務)	2名
一般曹候補生(陸上)	5月 7名
一般曹候補生(陸上)	9月 1名
一般曹候補生(海上)	5月 14名
一般曹候補生(海上)	9月 1名
一般曹候補生(航空)	5月 1名
一般曹候補生(航空)	9月 1名

地方公務員 1次試験合格先			
徳島県職員(一般事務)	1名	徳島市消防吏員	7名
徳島県職員(学校事務)	5名	徳島中央広域連合消防吏員	6名
徳島県職員(警察事務)	6名	高松市職員(消防)	1名
徳島市職員(初級事務)	6名	新居浜市消防本部(消防吏員)	1名
三好市職員(一般事務)	3名	神戸市消防職員(消防)	1名
石井町職員(一般事務)	1名	大阪市職員(消防吏員A・男・II)	1名
吉野川市職員(一般行政)	2名	大阪府警察官(警察官B)	20名
三好広域連合(事務)	1名	大阪府警察官(女性警察官B)	5名
つるぎ町職員(一般事務)	1名	兵庫県警察官	1名
那賀町職員(一般事務)	1名	東京消防庁Ⅲ類(全国)	1名
大阪府職員(行政事務B)	1名	東京消防庁I類(東京)	1名
神戸市職員(一般行政)	1名	豊中市消防(消防吏員)	1名

### 穴吹学園新聞編集委員会

<http://www.anabuki.ac.jp/>  
〒770-0852 徳島市徳島町2-20  
TEL: (088) 653-3155 (代)  
FAX: (088) 653-3169

## パティシエ・ベーカリー学科

(平成22年4月新設)

専門学校 穴吹デザインビューティカレッジ

本格的な就職難時代においては、不況下でも左右されない技術を身につけたプロになりたい希望者が増加傾向にあり、「手に職」教育に再度、期待が寄せられています。

徳島校では平成22年4月、初めての「食」の専門学科である、「パティシエ・ベーカリー学科」を開設します。徳島県初となる製菓の専門学科もあり、卒業後、洋菓子、パン、和菓子の職人となれるよう、公的資格である製菓衛生師養成に則った専門カリキュラムを基礎に、色彩、デッサン、店舗運営といった将来に役立つ関連科目も設定しています。また、製菓教育で先に実績のある穴吹姉妹校のノウハウも取り入れながら、総大理石張り実習台、パティスリーオーブン、大型ベーカリーオーブンなど数多くの実践的な実習機器の準備も進行中です。夢があり、クリエイティブであり、「手に職」であるパティシエ・ベーカリー学科は、平成22年4月に第1期生を迎えます。来年の今頃は、とろけそうなスイーツの香りが校舎内を漂っていることでしょう。



## 学園祭 2009



テーマ 「四国で一番熱い場所～穴カレ祭で完全燃焼！」

日 時 平成21年12月19日(土)・20日(日) 10:00～16:00

本部イベント(穴カレオリンピック、bingo大会、カラオケ大会等) 模擬店、お笑いトークライブ

同時開催 美容技術コンテスト、トータルコーディネートショー、保育福祉まつり、卒業制作作品展

## デザイン展 2009

日 時 平成22年2月18日(木)～21日(日) 10:00～17:00

場 所 シビックセンター ギャラリー(徳島市元町1丁目24番地)

テ マ 『Epoch making』

出展学科 建築・インテリアデザイン学科、グラフィックデザイン学科、美容学科、ビューティコーディネート学科、ブライダル・ホテル学科

※各学科から優れたオリジナル作品が多数出展されます。

## 穴吹カレッジグループ

### 専門学校 18校

#### 【徳島】

専門学校穴吹福祉医療カレッジ  
専門学校穴吹デザインビューティカレッジ  
専門学校穴吹情報公務員カレッジ

#### 【高松】

専門学校穴吹コンピュータカレッジ  
専門学校穴吹ビジネスカレッジ  
専門学校穴吹デザインカレッジ  
専門学校穴吹ビューティカレッジ

専門学校穴吹工科カレッジ  
専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ  
専門学校穴吹バティシエ福祉カレッジ  
専門学校穴吹動物看護カレッジ  
専門学校穴吹医療カレッジ

#### 【福山】

穴吹情報デザイン専門学校  
穴吹医療福祉専門学校  
穴吹動物専門学校  
穴吹ビューティ専門学校

穴吹調理製菓専門学校

#### 【広島】

穴吹デザイン専門学校

#### 関連会社・部門

◇穴吹キャリアアップスクール  
社会人教育、各種資格取得講座  
◇穴吹進学ゼミナール  
進学塾

◇(株)穴吹カレッジサービス  
ソフト開発、講師派遣

◇(株)穴吹職業紹介センター  
就職サポート

◇穴吹テレコム株式会社(高松市)  
ソフト開発・販売

◇高松高等学院(高松市)  
高校卒業資格サポート

**■ こども福祉学科**

報 穴吹福祉医療カレッジ

**すかんぽ療育キャンプ**

こども福祉学科1年生・2年生26名が10月31日、11月1日の2日間、障害をもつ子どもたちとご家族を支援する「すかんぽ療育キャンプ」にスタッフとしてボランティア参加しました。子ども一人ひとりを担当し、遊びから食事まで共に過ごす中で、初めはなかなか出来なかったコミュニケーションもだんだんと出来るようになりました。2年生は2回目の参加のため、去年に比べると子どもとの関わりや配慮など、成長を見ることができ、学生自身からも「こんなことがよかった」「しっかり関わることができた」など、さまざまな思いを聞くことができました。1年生は初めてですが、先輩の姿やスタッフの方々の姿などを参考にし、戸惑いながらもしっかりと活動ができていたように思います。



音に楽しむ「音楽ムーブメント」では、音が流れると今までガヤガヤしていたブレイホールが一瞬シーンとなり、その後はとても楽しい雰囲気に包まれました。そこにいるすべての人が楽しむことができ、貴重な体験をすることができました。また、ペープサートやうた、ダンスなど、学生が学校で学んできたことを披露する時間もあり、子どもたちと楽しい時間を過ごしました。2日間はあつという間に過ぎ、お別れの時には涙する場面があり、学生一人ひとりの頑張りの証だと感じました。

学生たちは、今回のキャンプを通して、改めて援助の難しさや子どもと関わることの楽しさなどを体験できたことだと思います。このキャンプで学んだことを活かすことができるよう、それぞれの目標に向かって頑張ってほしいと思います。

**■ 歯科衛生士学科**

報 穴吹福祉医療カレッジ

**歯科衛生士学科、2年目を迎えて**

歯科衛生士学科では4月に1年生が入学し、2学年が揃いました。

2年生は1年次に訪問介護員2級と接遇マナーの資格を取得し、臨床・臨地実習では歯科衛生士の仕事を現場により実践的に学習しています。1年生は専門の基礎科目や臨床科目の講義など、歯科衛生士に必要な知識と技術の習得を行っており、どの学生も毎日頑張っています。

**「ホワイトニング・歯科材料」講習**

7月に授業の一環として、歯科器材メーカーによる特別講習を行いました。「ホワイトニング」講習では、ホワイトニングの基礎知識を学習後、実習ではホームホワイトニングで使用するカスタムトレーを各自で作製しました。審美要素の強いホワイトニングは1・2年生ともに关心も高く、熱心に受講していました。



歯科材料実習

また「歯科材料」講習では、歯科衛生士の三大業務の一つ“歯科診療補助”的実習を中心だったため、臨床実習を行っている2年生にとっては充実した内容だったようです。アルジネート印象材練和では、印象材の種類を練り比べてそれぞれの特徴を確認したり、セメント練和やシリコーン印象材練和では、操作の途中で材料が固まつたりして、歯科衛生士の仕事の難しさを実感したようです。1年生は初めての実習になりましたが、2年生の積極的な実習態度に刺激を受け一生懸命に取り組んでいました。今後もこのような特別講習を通して、歯科衛生士の仕事の理解やさらなる技能の向上をはかりたいと思っています。

**■ 福祉医療事務学科**

報 穴吹福祉医療カレッジ

**就職活動**

学生生活も残りわずかとなり、多くの学生が就職内定をいただくことができました。1年生のときから準備をすすめ、積極的に就職活動に取り組んだことが結果につながりました。就職合宿やセミナーなどで積んだ貴重な経験を今後、社会人としても活かしてもらいたいと思います。

**バスソルト作成・カラー診断の開催**

福祉医療事務学科2年生は、12月19日・20日に開催される学園祭・保育福祉まつりにおいて、「癒し」をテーマとしたバスソルト作成とカラー診断を行います。2年生で学習したアロマセラピー・カラーセラピーについての知識・技術を活かし、お越しいただいた皆様に喜んでいただけるよう準備を進めています。日ごろの学習成果を発表する機会として学生たちも意欲的に取り組んでいますので、ぜひお越しください。

左：中村 千春さん（耳鼻咽喉科・医療事務）  
右：森崎あゆみさん（病院・医療事務）**■ 医療情報管理学科**

報 穴吹福祉医療カレッジ

**3年生5名が診療情報管理技能認定試験に合格**

診療情報管理技能認定試験（日本医療教育財団主催）に医療情報管理学科3年生5名が合格しました。この試験は診療情報管理業務の従事者として必要な病名コーディング等の知識と技能のレベルを評価、認定することによって、その職業能力の向上と社会的地位の向上等に資することを目的としています。試験は病名コーディング技術の向上を図るため「学科」と「実技」の2科目で実施されます。実技では、「ICD-10準拠 痖病、傷害および死因統計分類提要」を使って、正確な病名コーディングの能力が問われます。また合格者には「メディカル・レコード・コーディネーター」の称号が付与されます。この称号は、より精度の高い病名コーディング技術等診療情報管理業務の専門家としての能力を有していることを証明するものです。

今回合格した5名は入学以来、医療事務管理士技能認定試験、医療事務技能審査試験（メディカルクラーク）2級・1級を順調に取得し、本学科の最上位目標である診療情報管理技能認定試験に見事1回で合格しました。2年次後期より専門科目の履修を開始し約1年間就職活動と並行しての学習期間でした。出題される分野は多岐にわたる専門分野であり、難易度も高いため合格者の努力は計り知れないものです。その分合格の喜びや将来に対する期待も高まったものと思います。卒業後それぞれの勤務先で、学習した知識を生かし第一線で活躍してくれることを期待しています。

**■ グラフィックデザイン学科**

報 穴吹デザインビューティカレッジ

**実践レベルでの学習**

本学科では現場レベルの実践が重要となっており、多彩な授業を実施しております。今年度も大手画材メーカーであるターナー色彩株式会社のご協力で、「特殊画材の使用方法に関する授業」を実施し、最新の画材の知識を修得することができました。また、大阪よりプロのイラストレーターを招聘しての「クロッキー実習」では、デッサン力の最も基礎となる部分を養い、観察力や洞察力を高める訓練となりました。

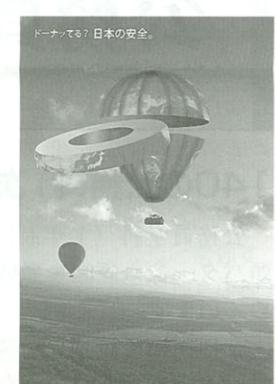
現在実施している内容では、新町川を守る会のご協力で、「新町川ひょうたん島クルーズのロゴマークと販売促進ツール」を制作しています。

外部コンペの実績としては、二科展デザイン部ポスター部門にて山内麻祐子さんが準入選、この夏に海陽町から発売された『寒茶』のペットボトルデザインコンペ（全国公募）では、2年生の森麻衣子さんが見事グランプリを獲得し、商品化されています。

この他にも、日頃の授業課題に加え、徳島市芸術祭美術展、アクリルアワード2009、徳島新聞社主催のフレッシュデザイナーズアワード等に取り組んでおります。常にデザインと向き合い創作の中に身を置くことで、他では得難いハードなデザインワークを経験し、社会の中で必要な主体性や考える力の育成を目指すことが、仕事に対する真摯な姿勢への啓蒙に繋がると考えています。



『寒茶』ペットボトル 商品

二科展デザイン部ポスター部門  
準入選  
山内 麻祐子さん 作品  
『日本の危機管理』**■ ファッションデザイン学科**

報 穴吹デザインビューティカレッジ

**卒業制作**

9月から始まった卒業制作。12月にあるコンテスト、撮影会に向け、それぞれの想いをかたちに表現しています。どのような想いで制作にあたっているか聞いてみました。

**●小椋 あやさん（テーマ：インディアン・ガール）**

「民族系の衣装に興味があり、また幼少の頃から好きなディズニーのピーターパンの衣装をイメージし、制作を始めています。ハギレの組み合わせがとても難しいです。自分で作る衣装を着るのが夢のようで凄く楽しみだと話してくれました。

**●楠本 菜月さん（テーマ：プチプチラッピング・ドール）**

「人がおしゃれを楽しむのと同じように、ラッピングもオシャレを楽しむことができる。布を使わずに、不織布やプチプチ、包装紙やリボンを使って、制作するのも楽しいと思いました。実際始めてみると、いつもと違う安定しない土台を縫う時は大変緊張します。今後は、ヘアアクセサリー、小物やバックを作ります。布を使わないデザイン性の高い未来の衣装の提案をしてみたいと思います。」創造性に富んだ近未来的提案が目標だそうです。



講師の島本先生は、「学生達は一生懸命です。コンテスト入賞を目指し、あつと驚かせるような創意工夫、オリジナリティ溢れる作品を丁寧に制作して欲しい。」と語っていました。想いのまま自由に作品作りに取り組む姿から、本当に楽しそうに生き生きとした表情をしている様子を伺うことができ、どのような作品ができるか期待が高まります。

**■ 建築・インテリアデザイン学科**

専門 穴吹デザインビューティカレッジ

**名古屋デザイン研修旅行**

6月12日(金)・13日(土)、毎年恒例となっている名古屋へのデザイン研修旅行を行ってきました。1日目が愛知県立美術館「アーツ&クラフト展」と名古屋市美術館「だまし絵展」、2日目がポートメッセ「クリエーターズマーケット」を見学し、質の高い美術品やデザイン作品を見ることで、刺激を受け、自分の感性を磨き、研修旅行を通して学生間の新たなコミュニケーションも生まれ連帯感が増したように感じました。



名古屋デザイン研修旅行

**第2回 あなぶき住処のデザインコンペティション**

本年度も昨年に引き続き、あなぶき興産グループ及びカレッジグループ主催のデザインコンペがあり、その公開審査会が8月25日(火)に行われました。このデザインコンペは穴吹カレッジグループに在籍する学生を対象に、デザイン力向上やその成果を発表する場となることを目的としており、今年も広島・福山・高松・徳島各校から応募がありました。昨年度は最優秀の作品を実際に作り販売することが約束され、学生にとっては自分の作品が現実の形になるということが興味をひいたようです。

今年の審査会は公開審査となり、学生も審査風景を見ることができました。審査委員長に建築家の古谷誠章さんを迎えて、1次審査と2次審査を経て、最優秀1作品、優秀2作品、佳作4作品が選ばれました。学生にとっては、自分達の作品がどのように評価され、どのようなプロセスで優秀作品が選ばれるかを見ることで、今後の作品作りに生かされることと思われます。

**■ 美容学科**

専門 穴吹デザインビューティカレッジ

**美容コンテスト**

美容学科の学生全員が10月19日(月)に松山市で行われた美容コンテストに参加してきました。この大会はエルマン薬粧株式会社主催で四国で最大規模のコンテストであり、総エントリー数497名という大会です。ワインディングスクール部門には189名のエントリーがあり、張り詰めた緊張感の中で競技が開始しました。2年生は入学してからの1年半の成果を発揮するときです。この日のために厳しい授業にも耐え、放課後の練習も乗り越えてきました。1年生にとっては初めて体験するコンテストです。まだまだタイム内で終えることも難しい時期ではありましたが、学校では味わうことのできない雰囲気を感じることができ、来年に向けた良い経験になったと思います。それぞれの思いを胸に精一杯がんばってくれました。

その結果、昨年を上回る好成績を残すことができました。入賞者は次の皆さんです。

優勝 堀川 友美(2年)  
準優勝 大谷 景(2年)  
3位 森 小春(2年)

努力賞 長谷 宏美(1年)  
努力賞 雲井 祐子(1年)

森さん 堀川さん 大谷さん  
雲井さん 長谷さん

また、卒業生たちの活躍も目覚ましく、ワインディングフリー部門で5期生の伊庭永代さん(佐和子の店)が優勝、モデルカット部門で2期生の松岡一希さん(リスキーズ)が入賞しました。美容師としてがんばっている先輩の作品を間近で見た学生たちは自分たちもみんなふうになりたいと刺激を受けたようで、ますます練習に熱が入っています。そんな夢を教職員一丸となってサポートしていきたいと思います。

**■ ビューティコーディネート学科**

専門 穴吹デザインビューティカレッジ

**マークショー開催!**

8月20日(木)、毎年恒例のマークショーを、マークアップアーティストの三上宏幸先生をお招きし開催しました。午前中は在校生を対象とした特別講座。スキンケアからスタートしたデモンストレーションの中で、マークの技術だけでなく、アーティストとしての心構えなどもお話し下さいました。アーティストには、コミュニケーション能力や清潔感も大切、と話しながら、モデルにも気さくに声を掛け、その緊張を解きほぐしてくださいました。そしてモデルの欠点をカバーするだけでなく、長所をマークで引き出していく。その華麗なテクニックに、在校生の目は釘付けになりました。デモンストレーションに続いて、学生へのマーク指導。2年生が1年生に施したナチュラルメイクに一人一人アドバイスをいただきました。業界の裏話あり、熱い熱いメッセージあり「夢はもたなきや、叶わない!」と語る三上先生に会えたことが、夢の実現の第一歩となる一日でした。

マークアップアーティスト  
三上 宏幸 先生**■ ブライダル・ホテル学科**

専門 穴吹デザインビューティカレッジ

**いろいろなことにチャレンジ!**

ブライダル・ホテル学科はイベントや行事がとても多い学科です。1年生は、ホテル見学を兼ねた『テーブルマナー講習』、本格的に一流ホテルでスタッフとして働く『夏季ホテル研修』、貸衣装店での『カクテルドレスのフィッティング』、冬には学生待望の『関西一流ホテルの見学と体験宿泊』など。

2年生では、『ブライダル企業の見学』、学生による企画演出のブライダルショー『ビューティライブ』、2年間の集大成である『オリジナルウェディング』などがあります。

今年の『ビューティライブ』は、アスティとくしまにて大々的に行われました。学生の皆さんには緊張しながらも、大きな舞台でキラキラ輝いていました。また今年は鳴門にあるリゾートホテル「モアナコースト」様からの依頼により『ドレスショー』の企画演出と、当日のドレス9点のフィッティングも行いました。

現在は、冬に行われる『オリジナルウェディング』の準備に追われています。学生は、専門知識や技術の習得に励む真面目さ、それとともに学校行事や外部イベントにも積極的に取り組む前向きさ、そしてやり遂げる責任感とバイタリティを持ち合わせています。意見の対立やジレンマ、挫折もありますが、同じ夢を持った仲間と力を合わせて、いろいろな現場を経験することはきっと将来役に立つことでしょう。

**■ デジタルクリエイト学科**

専門 穴吹情報公務員カレッジ

**東京ゲームショウ2009**

初秋の訪れを感じる9月24日。今年で19回目の開催となる、世界最大規模のコンピュータエンターテインメントショウ「東京ゲームショウ2009」が千葉県にある幕張メッセにて開催されました。今回は「GAMEは、元気です。」のテーマのもとに4日間開催され、9月中旬からの連休明けにもかかわらず9月24日(木)から27日(日)までの合計で18万5030人の来場者を記録しました。

本年度も「世界最大のコンピュータエンターテインメントショウ」として、全世界に向けて最新のゲーム情報の他、携帯電話、スマートフォン向けコンテンツや機器を紹介する「アドバンスド モバイル&PCコーナー」が新設され、単なる最新ゲームの見本市ではないと強く感じました。

そのような中、3年目となる「ゲームスクール」コーナーへの出展を行うべく学生作品の準備や指導を行ってきました。今年は昨年までと違い、学生作品をいかにしてアピールするか、ということでゲームやムービー、ポスター作品の他、それぞれの学校の学生らしさをアピールできるポートフォリオを出展しました。高松校・福山校・広島校・徳島校の4校でそれぞれまったく違う形式のポートフォリオが集まるようになりましたが、逆にその学校の学生作品の「色」が出たのではないか、と思いました。

また、ツアーデザインの最終日に実際のゲーム会社へ訪問をさせていただき、業界の第一線で働いている方から貴重なお話を聞かせていただくなど、学生にとっては作品制作や将来の就職活動へむけて十二分な刺激を受けるイベントになったのではないかと思います。



穴吹学園出展ブース

**■ 情報ビジネス学科**

■ 穴吹情報公務員カレッジ

**入学から8か月**

今年の4月に入学してから早くも8ヶ月が過ぎました。彼ら彼女らの最終目標は就職です。来年の就職活動に向けて自分の力で自分を鍛えるために日々から頑張っています。

検定は入学して2ヵ月後から本格的に受験が始まります。6月の文部科学省後援「情報処理活用能力検定」を皮切りに、7月の「パソコン検定」8月(夏休み期間中)のマイクロソフト認定「Microsoft Certified Application Specialist (MCAS) WORD2007」と毎月のように行われます。

これらの検定で「情報処理活用能力検定」と「MCAS WORD2007」では全員が合格できました。

これからも今年度最大の目標検定の経済産業省認定「IT パスポート」をはじめ、多くの検定がまだまだ目白押しですが、チャレンジャーとして大きな目標に向かって最後まで諦めることなく、力強く一歩一歩前進してくれると確信しています。

**■ 企業ビジネス学科**

■ 穴吹情報公務員カレッジ

**簿記の勉強を始めて2ヶ月で「日商簿記検定3級」に合格****須賀 安希子さん(1年生)**

私が日商簿記3級の勉強を始めたのは今年の4月からです。日商簿記3級の検定は、6月、11月、2月に受験可能ですが、その中で6月を受験目標として勉強を開始しました。なぜ早期取得を目標にしたかというと、就職するにあたってより多くの資格を取得しておきたいと考えたからです。

簿記では多くの勘定科目が出題されるので、まず勘定科目を覚えることから始め、そのために毎日仕訳問題を解くようにしました。最初は見慣れない用語に苦戦しましたが、毎日少しでも問題に触れることで、だんだんと解き進められるようになりました。検定日が近づいてくると過去問題を中心に解き、わからないことが出てくると、その日の内に先生に質問して不安点をなくすようにしました。また、検定の時間制限が2時間なのでペース配分を考えて問題を解くことにも気をつけ、授業で電卓の有効的な使い方を教えて頂いてからは問題を解くペースも上がるようになりました。過去問題を繰り返し解いていると問題の傾向も掴めるようになりました、試験に臨んだところ無事に合格することができました。目標を明確にすることで自分のやるべきことが見えてくるので、いつも目標を立てて勉強に臨むようにしています。

今は、日商簿記2級に向けて勉強中です。ただ資格取得するだけでなく実務的に活かせるようにきちんと内容を理解しながら勉強していくことが大切だと思います。将来の仕事に活かせるように、これからも簿記を身につけていきたいです。

**就職部より****～就職状況～**

昨年度初め、売り手市場と言われた就職戦線は、昨年9月の金融危機以降急速に悪化し、今年度は年度当初から非常に厳しい状況でスタートしました。このような厳しい就職環境は昨年度末に予想されていたため、例年以上に早い段階から就職活動を始めておりましたが、現実は予想以上に厳しい状況となっています。企業側の新卒採用に対する姿勢も変わってきています。これまでのように「迷ったら採用」というケースはほとんどなく、確実に企業の人材ニーズに応えられ、自分がやりたい事、自分ができることが明確な学生でなければ、内定を貰えないという状況になってきています。この意味では、中途採用者が有利となってきており、新卒者にとっては本当に厳しい就職戦線となっていました。

このような中今年度のこれまでの状況として、穴吹情報公務員カレッジでは、情

**■ 情報システム学科**

■ 穴吹情報公務員カレッジ

**情報システム学科の取得目標のIT系資格について**

IT 分野を大きく分けるとハードウエア・ソフトウエア・ネットワーク・データベース・セキュリティに分かれます。それぞれにそのスキルを証明するための試験が用意されており、取得することにより就職も有利に進めていくことができます。資格取得は自己自身の能力の証明です、学生の実績と取得している資格について紹介します。

**情報処理試験の実績**

現在、情報処理試験の合格者数は累計で29名です。平成21年春の情報処理試験で11名の合格者がいました。内訳はIT パスポート試験で6名合格(本校合格率85.7% 全国合格率72.9%)、基本情報技術者試験で5名合格(本校合格率31.2% 全国合格率27.4%)、対策授業を5週間取り組んできた成果を出すことができました。

**情報処理試験(秋期)の予想**

平成21年度秋期情報処理試験で1年生は、IT パスポート試験、2年生は基本情報技術者試験、3年生はIT パスポート試験・基本情報技術者・応用情報技術者への合格を目指して、約5週間試験対策に励みました。合格発表はまだですが、何名合格者がいるか楽しみです。1年生は、次回の情報処理試験に向けて勉強に励んでいます。昨年度から、情報処理試験制度が変更になり、試験区分の改定や試験範囲の見直しが実施されました。本学科でも新試験制度への対応に取り組んでおります。

**■ 公務員・行政ビジネス学科**

■ 穴吹情報公務員カレッジ

**公務員試験の一次試験合格発表がほぼ終了、二次試験に向け、学生たちの決意を決めた近況****新居 美咲さん(公務員学科1年)**

私は、去年も公務員試験を受けましたが、合格できませんでした。しかし、今年は国家Ⅲ種(税務)、裁判所事務官、徳島県職員、徳島市職員などの一次試験に合格できました。

穴吹情報公務員カレッジでは、教養だけでなく面接対策もあり、自信をもって試験に挑めました。忙しい中、指導してくれた先生方には本当に感謝しています。また、同じ目標に向かって頑張るクラスメートはライバルであり、仲間であり、とても心強い存在です。最終合格を目指して最後まで頑張っていきたいです。

**大谷 明日美さん(行政ビジネス学科1年)**

私は穴吹情報公務員カレッジに入学するまで、公務員試験の勉強をしたことがなく、授業についていけるのか不安でした。しかし、行政ビジネス学科では基礎からじっくりと勉強することができ、現在は公務員試験の一次試験に3つ受かることができました。入学してからは、今までにならないくらい勉強してきました。その努力が実ったのだととても嬉しく思っています。まだこれからも試験は続いているが、この思いを忘れずに頑張っていきたいです。

**上野 浩幸くん(行政ビジネス学科2年)**

私は昨年、本校に入学し数多くの公務員試験を受験しましたが、残念ながら内定することができませんでした。ですから、今年は昨年の反省をふまえて勉強方法を変え、今までより一層真剣に勉強に取り組んできました。その甲斐もあり、今年は国家Ⅲ種(税務)・防衛省Ⅲ種(一般事務)の一次試験に合格することができました。また、面接対策でも自己分析を徹底して取り組むことで、本番では落ち着いて自分の思いを伝えることができました。今まで同じ目標に向かって、日々切磋琢磨しながら共に歩んできたクラスメートは、よきライバルであり、大切な仲間として心の支えがありました。指導していただいた先生方や家族への最高の恩返しは内定をとることですから、それに向かって一生懸命取り組んでいる最中です。

報ビジネス学科から2名が銀行に内定をいただきました。穴吹デザインビューティカレッジにおいては、美容学科が早い段階で全員の内定が決まっています。また穴吹福祉医療カレッジにおいては、例年厳しい医療分野・保育分野にあって、医療情報管理学科、福祉医療事務学科、こども福祉学科において、内定率70%、高い専門分野内定率(96%)という結果を残せています。

まだまだ、内定をもらっていない学生もありますが、卒業までには全員が内定できるよう担任・就職部スタッフ一同気を引き締めて取り組んで参りたいと思います。

